

文系学問のすすめ

～現代社会の接点から

近年、文系学問は不要という意見も聞こえてきます。文系学問は地域振興など、人々の暮らしに役立たないとされたためです。実際は、そのようなことはありません。本講座では、英語教育や文化人類学などの文系学問を専門家が紹介するとともに、その学問から現在の日本や世界がどう見えてくるのか、または現代社会にどう役立っているのかについて話をしたいと思います。

回	日時	タイトル	講師
1	3月1日(月) 18:00~19:30	庄原英学校の謎に迫る(1)	うまもと つとむ 馬本 勉
2	3月2日(火) 18:00~19:30	庄原英学校の謎に迫る(2)	うまもと つとむ 馬本 勉
3	3月3日(水) 18:00~19:30	文化人類学を通じて日本社会を見直す① 性	かみづる ひさひこ 上水流 久彦
4	3月4日(木) 18:00~19:30	文化人類学を通じて日本社会を見直す② 家族	かみづる ひさひこ 上水流 久彦

※コロナの影響もあり、オンラインでの実施となりました。また、内容についても冊子で紹介していたものと一部異なることとなりました。ご了承ください。

受講料 1,000円(全4回、オンライン講座)

対象 外国語に関心をお持ちの一般の方(一回のみの受講も歓迎)

お申し込み方法

- 1 本学ホームページ(下記のURL又はQRコード)から「申込フォーム」に入力、または「参加申込書」に必要事項を記入してFAXでお申込みください。
- 2 申込みされた方には、後日、受講案内及び振込依頼書を送付します。

URL : <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=535>



お申込み締切(令和3年2月19日(金)まで)

申込先 : 〒727-0023 庄原市七塚町 5562 県立広島大学庄原地域連携センター
TEL : (0824) 74-1000
FAX : (0824) 74-1704
Mail : gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima



【講座内容】

第1回	庄原英学校の謎に迫る(1)	馬本 勉
	3月1日(月) 18:00~19:30	
	<p>庄原に英学校があったことを知る人は少なくありませんが、そこで行われたとされる教育については不明な点が多く残されています。初回はまず、当時の教育制度の中で、庄原英学校がどのような存在であったのかを探り、教育の実態解明を試みます。</p>	

第2回	庄原英学校の謎に迫る(2)	馬本 勉
	3月2日(火) 18:00~19:30	
	<p>2回目は、庄原英学校に関する非常に乏しい資料の中から、現存する教材に焦点を当てていきます。庄原の森書店が英学校とどう関わり、森修一の著した「独案内」がどう用いられたか、仮説を立て、その検証を試みます。</p>	

第3回	文化人類学を通じて日本社会を見直す① 性	上水流 久彦
	3月3日(水) 18:00~19:30	
	<p>文化人類学は「常識」を疑うことを大事にしています。それは、「常識」を疑うことを通じて、多くの人が住みやすい社会を構築できるからです。「常識」がなくては暮らしていきませんが、時にその「常識」は人を苦しめることがあります。一緒に日本の常識について考えてみませんか。今回は、「性」について考えてみたいと思います。</p>	

第4回	文化人類学を通じて日本社会を見直す② 家族	上水流 久彦
	3月4日(木) 18:00~19:30	
	<p>文化人類学は「常識」を疑うことを大事にしています。それは、「常識」を疑うことを通じて、多くの人が住みやすい社会を構築できるからです。「常識」がなくては暮らしていきませんが、時にその「常識」は人を苦しめることがあります。一緒に日本の常識について考えてみませんか。今回は、「家族」について考えてみたいと思います。</p>	

※コロナの影響もあり、オンラインでの実施となりました。また、内容についても冊子で紹介していたものと一部異なることとなりました。ご了承ください。

-----切り取り線-----

参加申込書

名前(ふりがな)	
参加希望日	<input type="checkbox"/> 第1回 <input type="checkbox"/> 第2回 <input type="checkbox"/> 第3回 <input type="checkbox"/> 第4回 <input type="checkbox"/> 全回 (希望日にチェックをお願いします)
住所	〒
電話	() - 日中の連絡先:
E-mail	
所属先及び職種	